

令和5年度第2回御殿場市地域公共交通協議会議事概要

令和6年1月18日開催 14時30分～16時05分
御殿場市林業会館第一研修室
※委員13名出席(全17名)

1 開会 (全体進行：御殿場市都市整備課長)

2 挨拶 (会長 小林都市建設部長)

本日はお忙しい中出席いただきありがとうございます。新型コロナも昨年の5月から、5類に移行され、社会全体が少しずつにぎわいを取り戻してきていると感じる。路線バス・タクシーの利用者数も少しずつだが、回復に向かっているようだ。しかし、燃料費の高騰や、全国的な運転手不足など、地域公共交通事業取り巻く環境は非常に厳しいと感じている。さらに4月から自動車の運転手の労働環境の見直しが行われる、いわゆる2024年問題で、バス・タクシー業界にも大きな影響が出るおそれがある。既に都市部ではやむを得ない減便や、路線廃止が実施され、利用者に影響が出ているようだ。本市としては地域公共交通を維持していくために、事業者のサポートに尽力していきたいと考えている。委員の皆様にも、できる限り公共交通を利用していただきたい。

そういった中で、市では昨年本市の地域公共交通移動支援内容についてわかりやすく、そして自分が使える支援を理解して、多くの方に利用していただける、支援内容を一覧にまとめた「富士山のふもと御殿場らしい移動支援」を作成した。本日の資料にも添付したので参考にいただければと思う。

また最近の話題として、国では、ライドシェアの検討を始めている。4月あるいは6月頃に、大きな方針が示されるという情報も入っているが、本市としても国や静岡県との動向を十分注視していきたいと考えている。

いずれにしても、皆様のお力添えをいただき、市民ニーズに沿った御殿場らしい地域公共交通の施策や事業を進めていきたいと思う。

本日はよろしく申し上げます。

3 議事

(以下、会長により進行)

報告事項

(1) 本市の公共交通の現況…資料1-1、1-2

①市の公共交通の対する補助状況

②バス利用者の推移

(説明：事務局)

(質疑等なし)

協議事項

(1) 令和6年度御殿場市生活交通確保計画(案)について…資料2-1 2-2

(説明:事務局)

(補足説明:富士急モビリティ株式会社)

志村委員(富士急モビリティ(株)代表取締役社長):

先ほど会長の話にもあったが、運転手の確保が課題となっている。ある程度採用はできているが、並行して様々な理由で退職者もいるのが現状。令和4年度は8名採用して7名退職。純増でいうと1名の増加。バスの労働環境の改善を行わなければ、離職が進む可能性がある。昨年4月には賃上げを行ったが、なかなか離職に歯止めがかからない状況。運転手の確保に努めている。

市民の皆様の手となるものなので、市や国、県から支援をいただきながら公共交通の維持に努めていきたいと考えているので、ご協力願います。それでは、担当より説明をいたします。

(説明:櫻井氏(富士急モビリティ株式会社))

(質疑等)

会長:実際に増減もあるが、ゼロになるようなことではないので、非常にありがたいと感じている。それでは、令和6年度御殿場市生活交通確保計画(案)について承認してよろしいか。

(異議なし)

(2) 地域間幹線系統評価基準に基づく協議について…資料3-1~3-5

(資料3-1~3-3説明:長田氏(静岡県交通基盤部都市局地域交通課長代理))

(資料3-4説明:富士急モビリティ株式会社)

(資料3-5説明:事務局)

(質疑等なし)

会長:市の取組内容として資料3-5のとおり、県協議会へ報告してよろしいか。

(異議なし)

(3) 御殿場市地域公共交通計画に係る施策の進捗状況について…資料4-1、4-2

(説明:事務局)

(質疑等なし)。

会長:それでは、協議事項3、御殿場市地域公共交通計画に係る施策の進捗状況について、承認してよろしいか。

(異議なし)

(4) 小山町コミュニティバスバス停「小沼母乳育児相談室入口」廃止について…資料5-1、5-2

(説明：山口氏 (小山町企画政策課))

(質疑等なし)。

会 長：それでは、協議事項4、小山町コミュニティバスバス停「小沼母乳育児相談室入口」廃止について、承認してよろしいか。

(異議なし)

4 その他

高村委員 (御殿場駅構内タクシー組合組合長)：

世間で騒がれているライドシェア だが、御殿場市でも動きがあると聞いている。新型コロナが5類に移行してから利用者がかなり増え、タクシー事業者が、ついていけなくなってしまった。現在徐々に改善をしているので、ライドシェアについては、少し待ってもらいたい。

司会：高村委員からライドシェアの話題が出たが、本日静岡運輸支局様が出席しているので、ライドシェアに関して現在の国の状況等お伝えできる範囲で伺えないか。

東川代理 (中部運輸局静岡運輸支局)：

我々にも報道で出ているような情報以外は降りてきていない状態。4月にライドシェア解禁という話もあるが、4月解禁を目指すというだけで、行政の方はまだ動いていないと感じる。仮にライドシェアが実現する場合、自家用有償運送のぶら下がり運行をライドシェアに合わせてうまく運用できないかという話が出ている。タクシー事業者が配車できないときに雇用関係などにある個人の方に自家用車を使ってタクシーのような運行していただく自家用有償運送というものになるのではないかと、我々は考えている。

しかし、それ以上検討が進んでいるわけではなく、実現するのかというのもまだわからない。我々も今後の動向を注視していきたいと考えている。

司会：事務局はライドシェアに関してどのようにお考えか。

事務局：ライドシェアに関しては、メリット・デメリットがあるということで、情報収集を行っているところ。当市も国や、静岡県の方の動向を注視して慎重に検討していきたいと考えている。

高村委員 (御殿場駅構内タクシー組合組合長)：

現在、自動車運転代行業者よりライドシェアをやりたいといった話が来ている。安心安全といった面で心配をしている。静岡県内では初のような。

司会：御殿場市としては、こういった会議の場でどのようにしていくか協議をさせていただきたいと考えていますので、委員の皆様にはご協力をお願いしたい。その他に何かございますか。

志村委員（富士急モビリティ㈱代表取締役社長）：

2月にグループ会社である富士急湘南バスを吸収合併する予定だ。これにより乗合バス、準高速バスの増回や貸切バス事業に力を入れていきたい。

司会：ありがとうございます。その他になれば事務局より2点お知らせをします。

事務局：1点目。運転士の確保を目的とした助成事業を検討している。内部での調整が完了次第委員の皆様にもお知らせします。

2点目。人口減少対策として御殿場駅～神奈川県方面間を連絡するシャトルバスを検討している。現在ニーズ調査を実施し、集計作業中。こちらも、内容が固まり次第、委員の皆様にもお知らせしたいと考えています。

6 閉会